

# 2018年9月期 第1四半期 連結決算説明資料 (2017年10月-12月)

## 株式会社FPG

(code:7148)

東証1部



2018年1月31日

<b>業績の総括</b>	<b>P2</b>
■ <b>ハイライト</b>	<b>P3</b>
■ <b>組成金額と期末在庫金額の推移</b>	<b>P4</b>
■ <b>出資金販売額の推移</b>	<b>P5</b>
■ <b>トピックス1 - JOL事業の拡大</b>	<b>P6</b>
■ <b>トピックス2 - 保険仲立人事業の推移</b>	<b>P7</b>
■ <b>トピックス3 - 不動産関連事業の推移</b>	<b>P8</b>
<b>事業概況</b>	<b>P9</b>
■ <b>タックス・リース・アレンジメント事業の状況</b>	<b>P10</b>
■ <b>販売ネットワークの状況</b>	<b>P11</b>
■ <b>多角化事業の状況</b>	<b>P12</b>
■ <b>2018年9月期 配当予想</b>	<b>P13</b>
<b>ご参考</b>	<b>P14</b>
■ <b>損益計算書の概要</b>	<b>P15</b>
■ <b>貸借対照表の概要</b>	<b>P16</b>
<b>本資料における注意事項等</b>	<b>P17</b>

# 業績の総括



## ◆ 第1四半期の売上高は概ね想定のペースで進捗

- 出資金販売額は、302.5億円と第1四半期として過去最高を達成
- 売上高は、大口のフルエクイティ案件を販売したことから、手数料率が低下し、前年同期比▲7.3%減
- 組成金額は、四半期ベースで1,074.7億円となり、前年同期比129.8%と大幅増

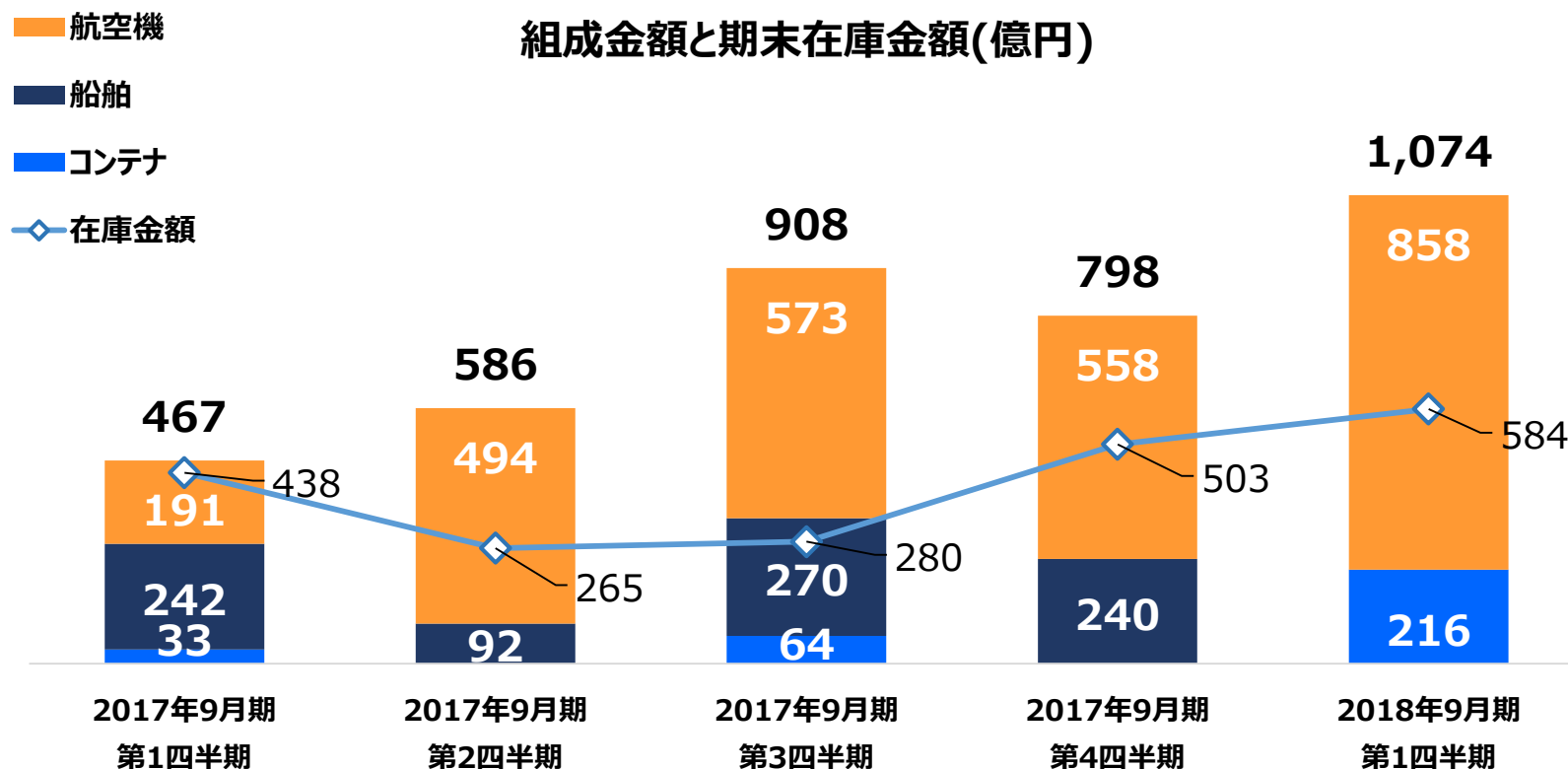
(億円)

	2017年9月期 第1四半期		2018年9月期 第1四半期			2018年9月期 通期予想	進捗率
		対売上比		対売上比	対前期増減		
売上高	47.4	100.0%	43.9	100.0%	▲7.3%	237.0	18.5%
タックス・リース・ アレンジメント事業	42.7	90.0%	38.2	87.1%	▲10.4%	198.5	19.3%
その他	4.7	10.0%	5.6	12.9%	20.3%	38.5	14.7%
売上総利益	41.9	88.4%	36.7	83.7%	▲12.3%	-	-
販売費・一般管理費	11.7	24.7%	14.0	32.0%	20.1%	-	-
営業利益	30.2	63.7%	22.6	51.6%	▲24.9%	147.5	15.4%
経常利益	32.4	68.3%	20.9	47.7%	▲35.4%	149.2	14.0%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	22.2	47.0%	14.3	32.6%	▲35.7%	103.1	13.9%
出資金販売額	293.5	-	302.5	-	3.0%	1,572.2	19.2%
組成金額	467.5	-	1,074.7	-	129.8%	3,874.6	27.7%

# ■ 組成金額と期末在庫金額の推移

## ◆ 組成金額については、1,000億円の大台を回復

- 航空機の組成金額は四半期ベースで過去最高の858億円を達成
- 通期予想3,874億円に対して、進捗率27.7%と順調に推移
- 好調な組成金額の影響を受け、期末在庫金額の水準が大幅に回復

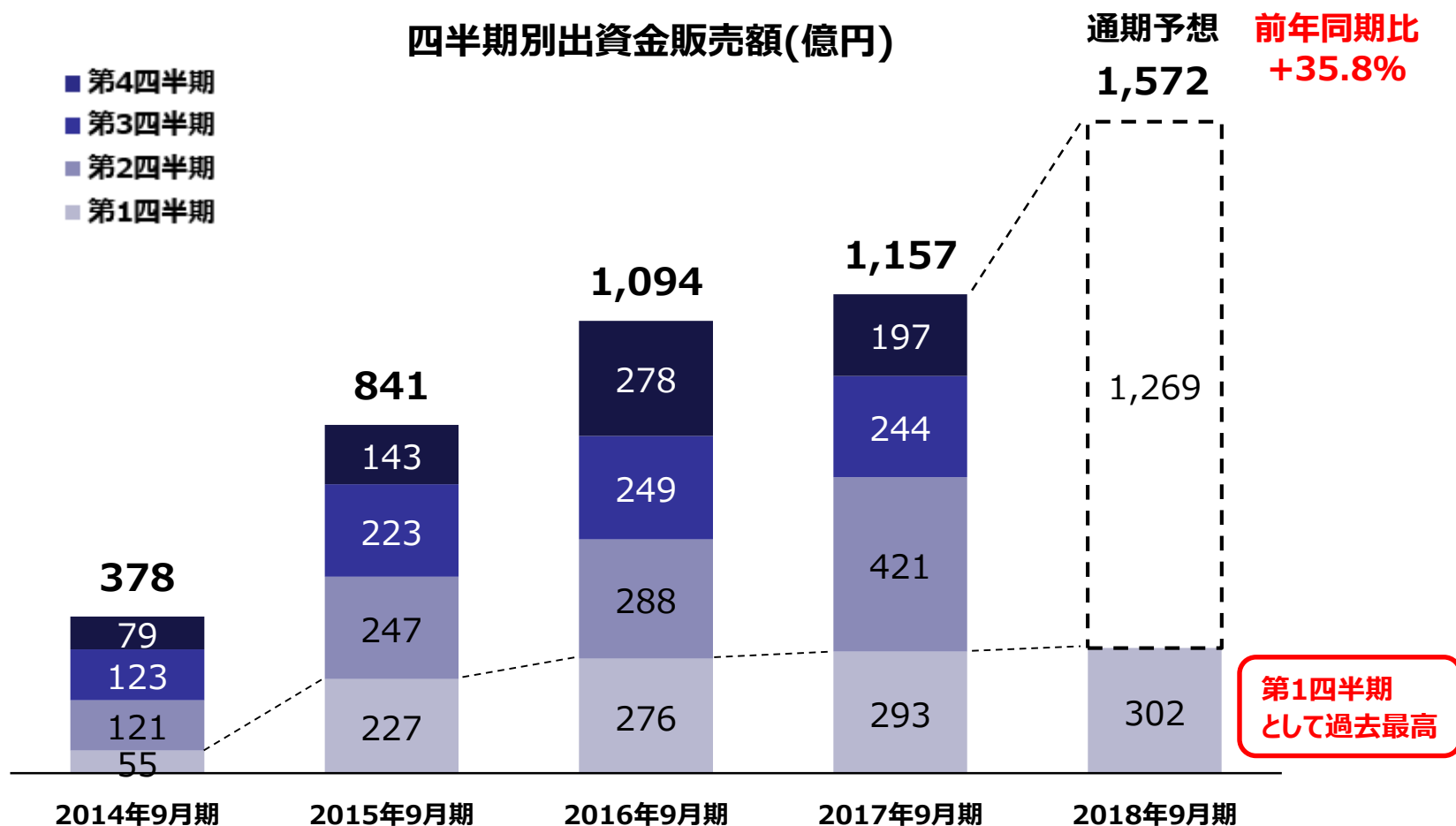


※在庫金額とは、商品出資金及び金銭の信託(組成用航空機)の期末残高の合計額

# ■ 出資金販売額の推移

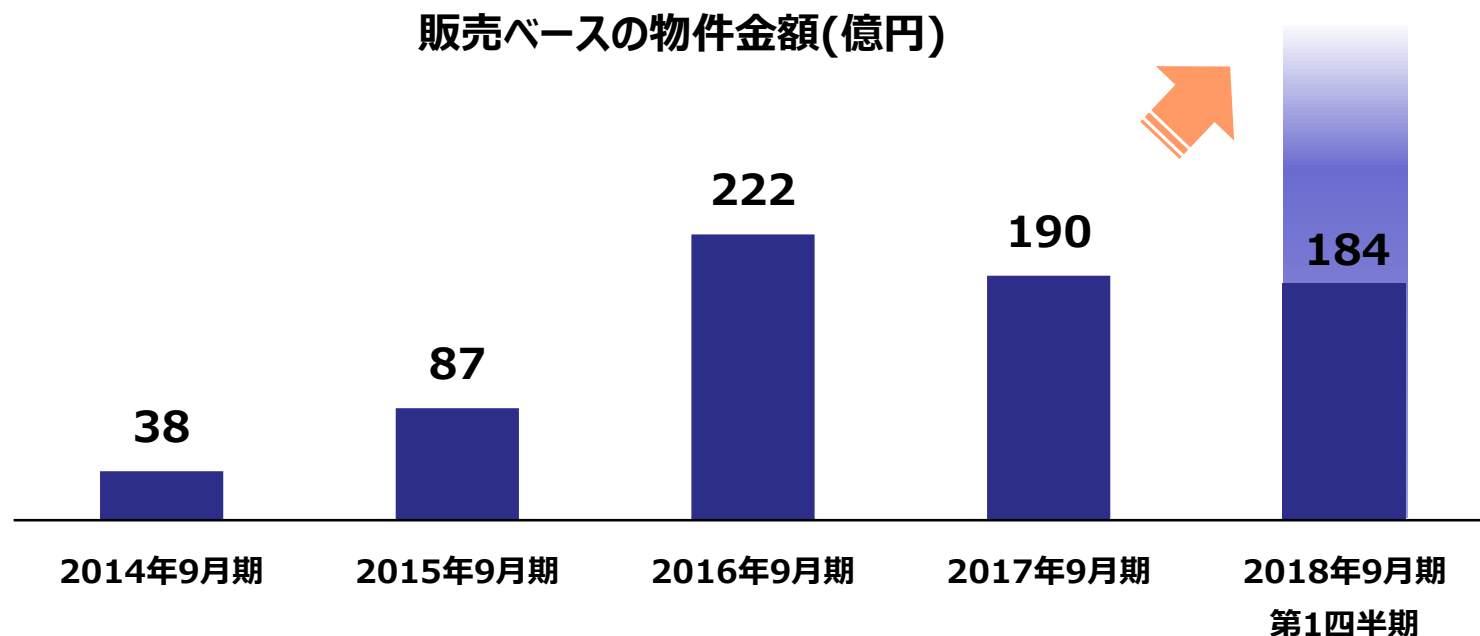
## ◆ 堅調な組成を背景に、第2四半期以降に出資金販売額の増加を見込む

- JOLCOの販売が引き続き堅調であることに加え、JOLの大口案件の大幅増加を見込んでいるため、通期の出資金販売額は前期比35.8%増の1,572億円を予想



## ◆中期的な経営戦略として、JOL事業での業界No.1を目指す

- 大口投資家向けの営業活動に注力した結果、JOLの販売ベースの物件金額は、第1四半期で、前年水準に到達



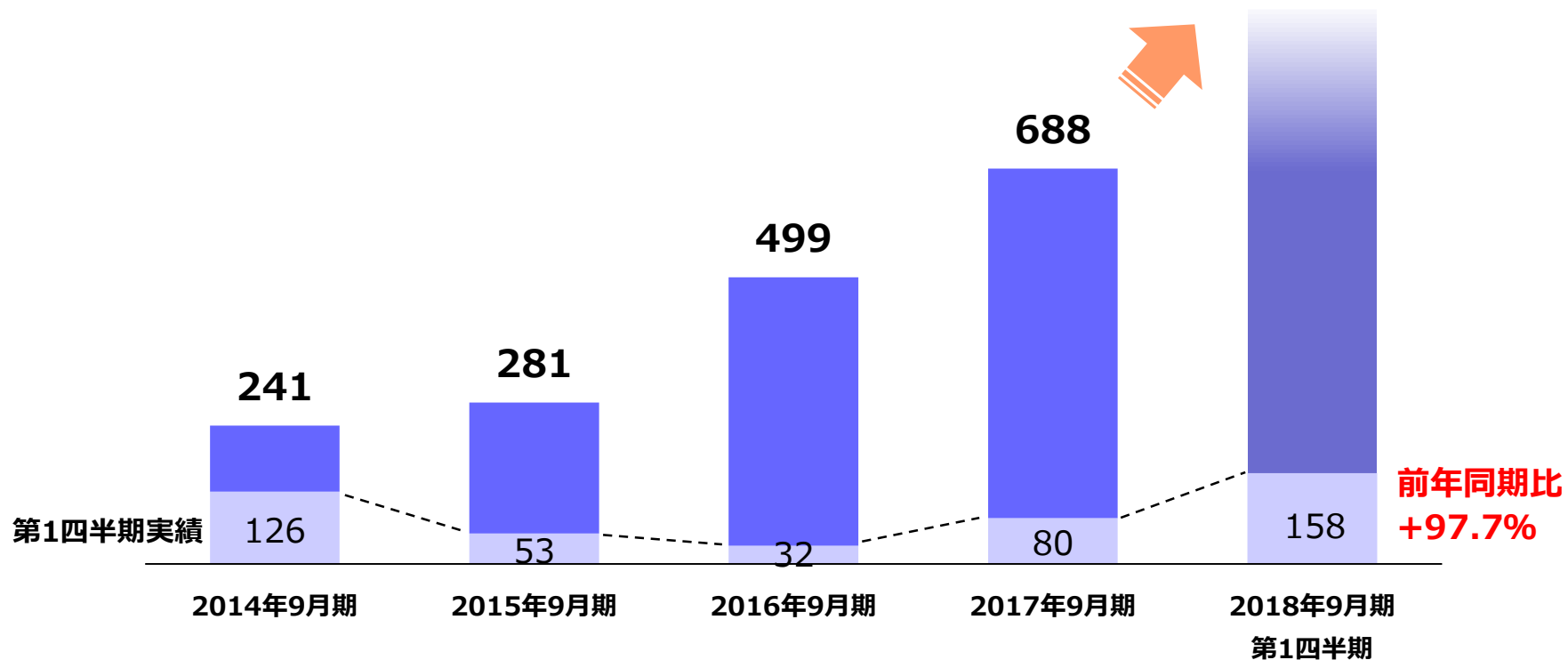
## ●販売機体数と取組み内容の推移

会計年度	2014年9月期	2015年9月期	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期
JOLの販売機体数	1機	2機	5機	4機	5機(第1四半期)
取組み内容	Amentumとの資本業務提携	Amentum連結子会社化	航空機ウェアハウス業務の開始	信託方式開始、11機まとめ買い	JOL販売額過去最高を計画

## ◆ 第1四半期として過去最高の売上高を達成

- 保険専門担当者を主要支店に配置し、販売を強化
- 販売ネットワークの拡充に加え、クロスセルを積極的に推進

保険仲立人事業の売上高(百万円)





# トピックス3 – 不動産関連事業の推移

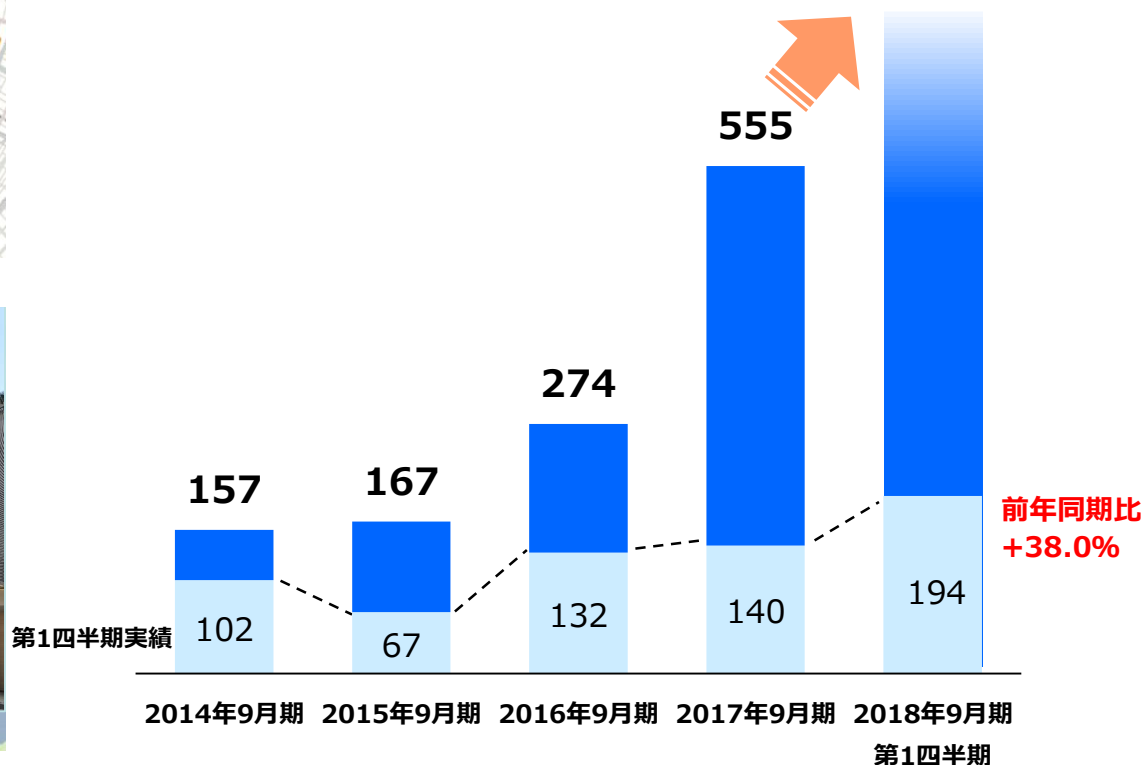
## ◆不動産小口運用商品2017年組成・販売実績No.1 (公表データをもとに当社集計)

- 日本一の商業エリアである銀座の不動産を取得、1月より販売開始
- 投資家からの需要が引き続き旺盛、第1四半期として過去最高の売上高を達成

### Premium Asset Series FPGリンクス 所在地



### 不動産関連事業の売上高(百万円)



# 事業概況



# ■ タックス・リース・アレンジメント事業の状況

## ◆ 組成金額は航空機案件を中心に前年同期比で大幅に回復

- 出資金販売額は、JOL5機の販売も寄与し、航空機案件を中心に好調に推移
- 海外関係会社との協業により、新規借借人3社を獲得

(億円)

		2017年9月期 第1四半期		2018年9月期 第1四半期		対前期 増減
タックス・リース・ アレンジメント事業売上高		42.7		38.2		▲10.4%
		293.5	構成比	302.5	構成比	3.0%
出資金 販売額	航空機	107.2	36.5%	192.1	63.5%	79.2%
	船舶	88.0	30.0%	42.7	14.1%	▲51.4%
	コンテナ	98.3	33.5%	67.6	22.4%	▲31.2%
手数料率 ※ (売上高/出資金販売額)		15.6%		14.2%		-
組成金額		467.5		1,074.7		129.8%

※フルエクイティ案件を除く。フルエクイティ案件とは、借入金を調達せず、すべて投資家からの出資金で調達する案件。

# ■ 販売ネットワークの状況

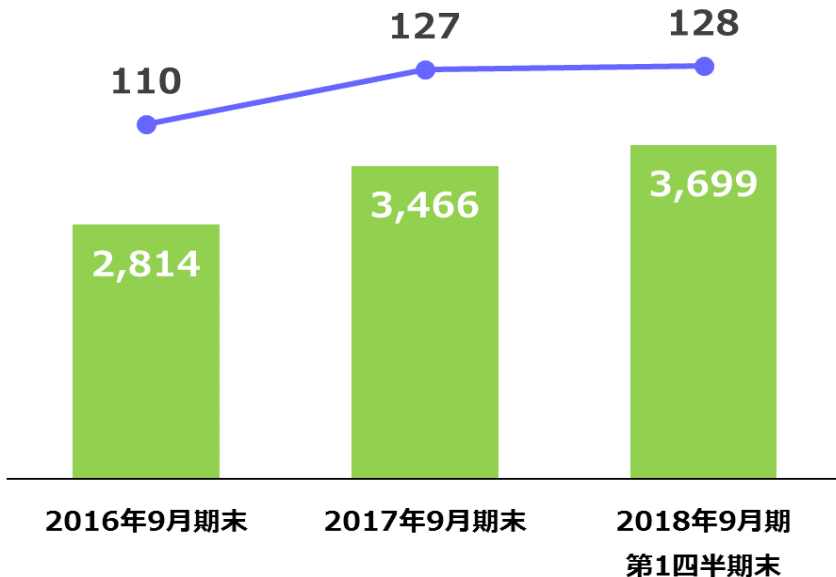
## ◆ 全国の会計事務所および金融機関との提携拡大

- 販売ネットワークは順調に拡大。会計事務所の提携先は233件増の3,699件、金融機関の提携先は1件増の128件
- 会計事務所からの紹介案件が堅調に推移
- 提携先会計事務所の深耕に注力(四半期で233件の増は過去最高)

### 会計事務所とのパートナーシップ契約件数と金融機関とのビジネスマッチング契約件数

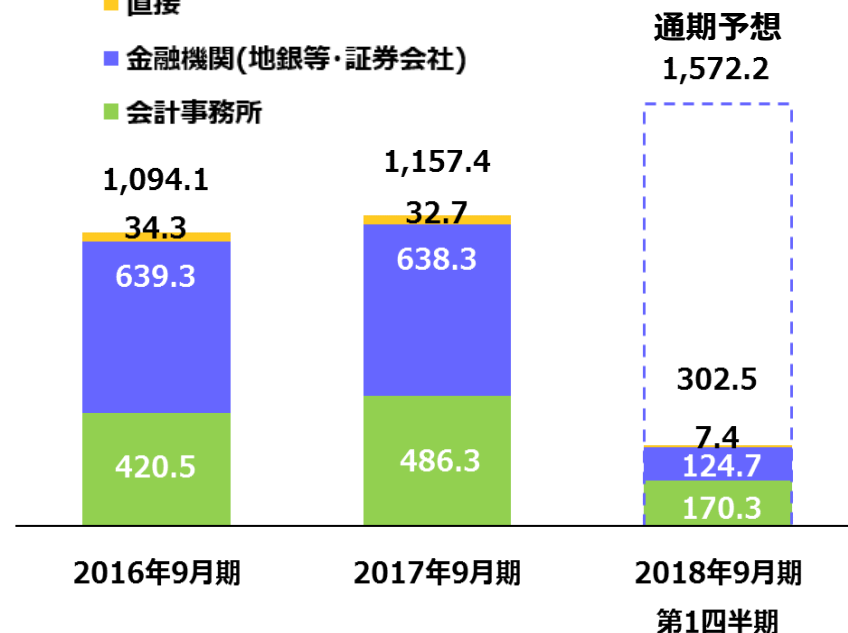
● ビジネスマッチング契約件数  
■ パートナーシップ契約件数

地銀等 109行  
証券会社 19社



### ネットワーク別出資金販売額の推移(億円)

■ 直接  
■ 金融機関(地銀等・証券会社)  
■ 会計事務所



- ◆ 既存の顧客基盤、販売ネットワークを活用したクロスセルの推進により、保険・不動産・M&Aは第1四半期として各々の過去最高額を達成

## 多角化事業の売上高

(百万円)

	2017年9月期 第1四半期	2018年9月期 第1四半期	対前期増減
保険仲立人事業	80	158	97.7%
不動産関連事業	140	194	38.0%
M&Aアドバイザリー事業	1	10	610.4%
証券事業	75	54	▲28.0%
投資管理サービス事業等	174	149	▲13.9%
その他売上合計	472	568	20.3%

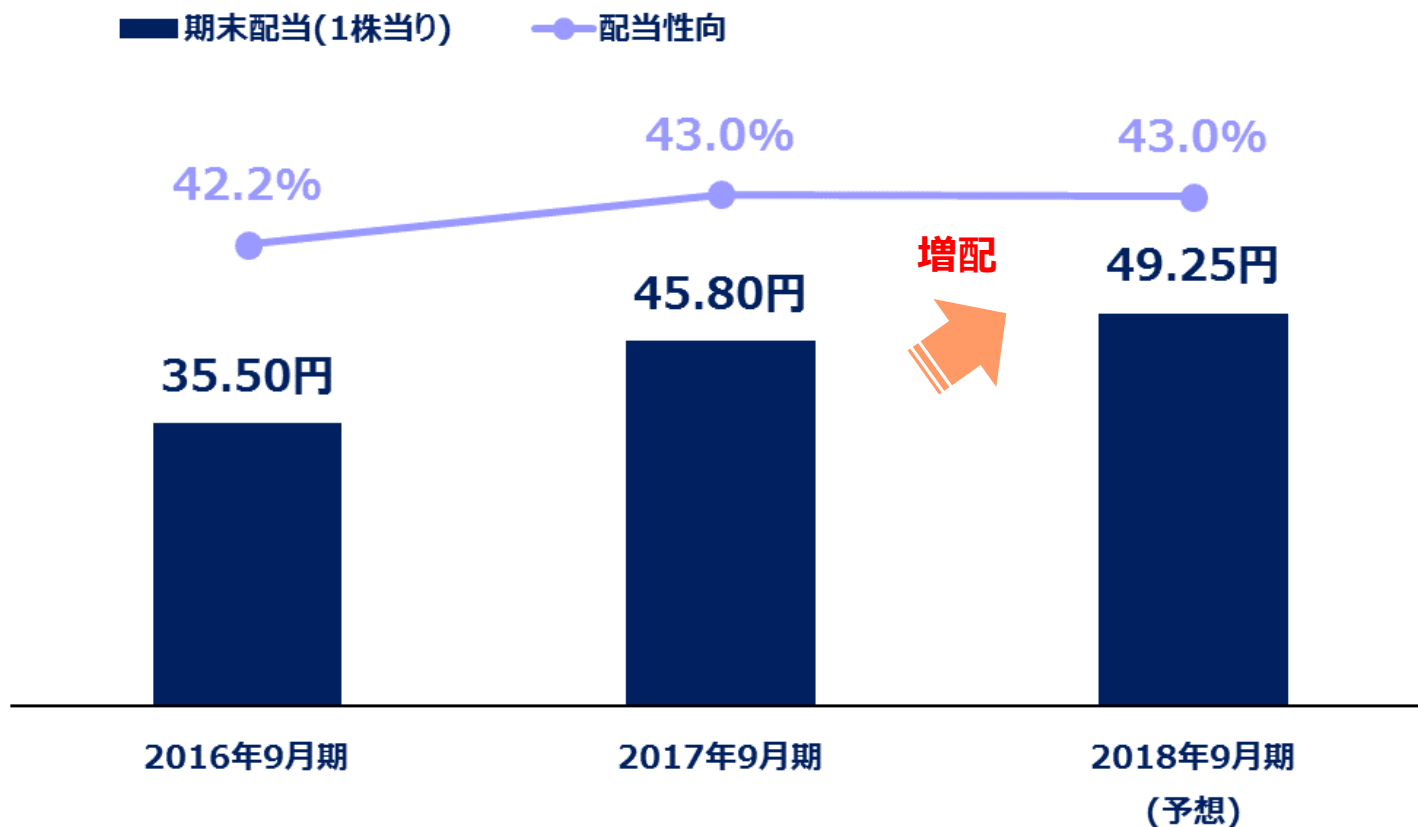
※多角化事業とは、当社の主要事業であるタックス・リース・アレンジメント事業以外の事業を総称するもの

# ■ 2018年9月期 配当予想

## ◆ 期末配当は1株あたり49.25円に増配予想

配当方針：将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主への利益還元を重視し、安定した配当を継続して実施

連結配当性向の目標：概ね40%以上



# ご参考



# ■ 損益計算書の概要

(億円)

	2017年9月期 第1四半期	2018年9月期 第1四半期	対前期増減
売上高	47.4	43.9	▲7.3%
①売上原価	5.5	7.1	30.4%
売上総利益	41.9	36.7	▲12.3%
販売管理費	11.7	14.0	20.1%
営業利益	30.2	22.6	▲24.9%
②営業外収益	3.0	2.4	▲21.8%
③営業外費用	0.8	4.1	365.4%
経常利益	32.4	20.9	▲35.4%
税引前純利益	32.3	20.9	▲35.3%
法人税等合計	9.9	6.3	▲36.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22.2	14.3	▲35.7%

- ①売上原価：顧客紹介者への支払手数料、タックス・リース・アレンジメント事業の案件組成コストを含む  
 ②営業外収益：一時的に立替えた出資金を投資家に販売する際に徴収する立替利息を受取利息として含む  
 ③営業外費用：資金調達に伴う支払利息を含む





- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社FPG（以下、弊社）の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 【本資料及び当社 I R に関するお問い合わせ先】

株式会社 F P G 経営企画部

TEL (03) 5288-5691

URL <http://www.fpg.jp>